

2019 年度

第二期生

看護師特定行為研修

募集要項

信頼される安心を、社会へ。

SECOM

セコム医療システム株式会社

1 セコム医療システム株式会社における看護師特定行為研修の理念

セコムグループの一員であるセコム医療システム株式会社は「社会システム産業」の構築の一翼を担うべく患者本位の効率的で質の高い平等な医療サービスを提供し社会に貢献することを目的に、訪問看護ステーション、シニアレジデンスなどを運営しているほか、全国の21の提携医療機関とともに革新的で高品質なサービスを追求し続けております。2025年に向け、患者・家族の視点に立ち安全・安心でタイムリーに対応可能で地域医療提供に貢献できるよう、特定行為に係る看護師の育成を計画的、効果的に取り組んでいきたいと考えています。

2 沿革

わが国は、2025年には4人に一人が65歳以上の高齢者となる超高齢化社会を迎えます。この2025年に向けて高まる医療ニーズに対応し、チーム医療のキーパーソンとして役割を發揮する看護師が、医師または歯科医師の判断を待たずに手順書により一定の診療の補助を行うことができるよう、国は『特定行為に係る看護師の研修制度』（以後、「特定行為研修制度」）を創設しました（保健師助産師看護師法第37条第2項1号に規定する特定行為及び同項第4号に規定する特定行為研修に関する省令 平成27年10月1日施行）。

セコム医療システム株式会社では当社における特定行為研修制度の理念のもと、特定行為研修制度に則った看護師育成に取り組むこととし、2017年8月2日付で看護師の特定行為研修を行う指定研修機関として厚生労働省から指定を受けました。本制度施行以降、民間企業としては初めての指定となります。

今回募集の『2019年度<第二期生>看護師特定行為研修』では2区分「創傷管理関連」「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」を新たに加え、**10区分18行為**で開講いたすべく準備を行っております。

3 特定行為研修の目的

急性期から在宅医療など、あらゆる領域でのチーム医療のキーパーソンとして、また医療安全を配慮のうえ高度な臨床実践能力を發揮できる看護師を育成することを目的としています。

4 研修の特色

特定行為研修は、看護師が手順書により特定行為を行う場合に特に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能の向上を図るための研修です。研修には2つの科目（共通科目、区分別科目）があり、それぞれ講義、演習または実習により行われます。共通科目を履修後、区分別科目に進みます。

共通科目 （全ての特定行為区分に共通するものの向上を図るための研修）

区分別科目 （特定行為区分ごとに異なるものの向上を図るための研修）

当研修では、研修方法を『ご自宅などで学ぶeラーニング、研修施設でのスクーリング（面接授業）、医療機関での臨床実習』で構成しています。

講義はeラーニングが中心です。共通科目では放送大学、区分別科目は、セコムの提携医療機関所属の医師（各学会認定の指導医・専門医等）や認定看護師、薬剤師などの作成によるeラーニングで学びます。また、研修施設のセコムトレセンター（東京都文京区）などで実践的かつ対応力が身につくスクーリング（面接授業）による講義・演習・模擬実習も行います。区分別科目のスクーリングが修了すると、臨床実習に臨みます。研修期間は1年6ヵ月間とゆとりのあるカリキュラムです。区分別科目の特定行為区分は選択制となっており、ご自身の専門性や取り組まれないこと、学習されていく環境や状況にあわせてお選びいただくことが可能です。

5 開講する特定行為区分

2019年度は特定行為10区分18行為の開講を予定しております。当研修では、次の特定行為1～10の区分のうち、**4区分以上**の選択が必要です。

特定行為区分	特定行為
1 呼吸器（気道確保に係るもの）関連	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置調整
2 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 気管カニューレの交換
3 ろう孔管理関連	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 ➢ 膀胱ろうカテーテルの交換
4 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 <small>（2019年開講予定）</small>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入
5 <u>創傷管理関連</u> *	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 褥瘡又は慢性創傷の治癒における血流のない壊死組織の除去 ➢ 創傷に対する陰圧閉鎖療法
6 動脈血液ガス分析関連	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 直接動脈穿刺法による採血 ➢ 橈骨動脈ラインの確保
7 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ➢ 脱水症状に対する輸液による補正
8 感染に係る薬剤投与関連	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与
9 <u>血糖コントロールに係る薬剤投与関連</u> * <small>（2019年開講予定）</small>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ インスリンの投与量の調整
10 循環動態に係る薬剤投与関連	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ➢ 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ➢ 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 ➢ 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 ➢ 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整

*：2019年4月開講にむけて厚生労働省へ追加申請中です

6 研修期間（1年6ヵ月間）

共通科目（319.9時間）、区分別科目（409時間*）の全過程は講義・演習・実習・評価で構成されたカリキュラムです。これらを1年6ヵ月間で履修します。

2019年度 研修期間																		
2019年4月（開講式）～2020年9月（修了式） 【1年6ヵ月間】																		
	2019年						2020年											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
共通科目 (319.9時間)	eラーニング (提供：放送大学)			スクーリング 〈講義・演習・実習〉 (研修会場：東京) 計6日間予定														
区分別科目 10区分18行為 (409時間*)	開講式			eラーニング			スクーリング 〈講義・演習・実習〉 (研修会場：東京) 計20日間*の予定 (提供：セコム)			臨床実習* 〈受講生所属の医療機関〉								

※：区分別科目の履修時間は10区分すべてを選択した場合の履修時間、研修日数

*：臨床実習は区分別科目の評価（OSCE・筆記試験）で合格した特定行為から順次開始可能

〈スクーリングのスケジュール予定〉

※ 各回とも終日開催予定

科目	回数	開催月	内容	実施内容
共通科目	第1回	2019年7月	医療安全、臨床推論、フィジカルアセスメント	講義・演習
	第2回	2019年7月	フィジカルアセスメント、臨床推論	講義・演習
	第3回	2019年8月	特定行為実践特論	講義・演習
	第4回	2019年8月	特定行為実践特論	講義・演習
	第5回	2019年9月	筆記試験	評価
	第6回	2019年9月	実習評価、評価面接	評価
区分別科目	第1回	2019年12月	①呼吸器（気道確保に係るもの）関連	講義・実習・試験
	第2回	2019年12月	②呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	講義・実習・試験
	第3回	2020年12月	③ろう孔管理関連（1）	講義・実習
	第4回	2020年12月	③ろう孔管理関連（2）	講義・実習・試験
	第5回	2020年1月	①②③OSCE（実技試験）	評価
	第6回	2020年1月	④栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	講義・実習・試験
	第7回	2020年1月	⑤創傷管理関連（1）	講義・実習
	第8回	2020年1月	⑤創傷管理関連（2）	講義・実習
	第9回	2020年1月	⑤創傷管理関連（3）	講義・実習・試験
	第10回	2020年2月	⑥動脈血液ガス分析関連	講義・実習・試験
	第11回	2020年2月	④⑤⑥OSCE（実技試験）	評価
	第12回	2020年2月	⑦栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連（1）	講義・演習
	第13回	2020年2月	⑦栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連（2） ⑧感染に係る薬剤投与関連（1）	講義・演習・試験
	第14回	2020年3月	⑧感染に係る薬剤投与関連（2）	講義・演習
第15回	2020年3月	⑧感染に係る薬剤投与関連（3）	講義・演習	
第16回	2020年3月	⑧感染に係る薬剤投与関連（4）	講義・演習・試験	
第17回	2020年3月	⑨血糖コントロールに係る薬剤投与関連（1）	講義・演習	
第18回	2020年3月	⑨血糖コントロールに係る薬剤投与関連（2） ⑩循環動態に係る薬剤投与関連（1）	講義・演習・試験	
第19回	2020年3月	⑩循環動態に係る薬剤投与関連（2）	講義・演習	
第20回	2020年3月	⑩循環動態に係る薬剤投与関連（3）	講義・演習・試験	

注意）開催月などの予定は変更となる場合があります

7 研修方法と内容

	研修内容（評価方法）		研修方法	研修場所
共通科目 (319.9時間)	講義	小テスト	eラーニング*	自宅、勤務先等
	演習 模擬実習	筆記試験 実習評価	スクーリング 6日間の予定	セコムトレリセンター (東京)
区分別科目 10区分18行為 (409時間※)	講義	小テスト	eラーニング*	自宅、勤務先等
	演習 模擬実習	OSCE** 筆記試験	スクーリング 20日間※の予定	セコムトレリセンター (東京)
	臨床実習	実習観察評価	臨床実習 5症例以上/1行為	受講生の所属施設 (自施設)

*: eラーニング；開講時に各受講生にIDを配布し自宅等で履修

** : OSCE（オスキー）；模型やシミュレーター等を用いて行う実技試験

※ : 区分別科目の履修時間は10区分すべてを選択した場合の履修時間

<臨床実習の方法について>

各区分別科目の臨床実習は受講生の所属施設等（自施設）で行います。自施設で実習を行う利点として、実習中や実習後においても継続した臨床実習指導医の指導やサポートを受けやすいことや実習調整のしやすさに加え、実践に近い環境で学べる点があると考え、当研修では臨床実習を受講生の所属施設で行うこととしています。また臨床実習を開始する前には、受講生の所属施設は、セコム医療システム株式会社（特定行為研修指定研修機関）の協力施設として連携協力体制に関する書類を作成の上、厚生労働省に提出する必要があります（詳細は本書『16 臨床実習の場所について』を参照ください）。

臨床実習は特定行為1行為につき、5症例以上の実習が必要です。

実習期間は履修する特定行為区分の種類や数、実習の状況などにもより異なりますが、特定行為1行為につき5～10日程度を予定しています。

8 看護師特定工研修の修了の要件

共通科目、区分別科目のすべてを履修後、看護師特定行為研修管理委員会の審査を経て、看護師特定行為研修の修了となります。

9 2019年度 第二期生募集数

15名

10 受講要件

本研修の受講には、次の要件があります。

- 1 看護師免許を有すること
- 2 看護師の免許取得後、通算5年以上の実務経験を有すること
- 3 施設において特定行為の実践・協力が得られ、所属部門長（看護部長等）及び施設長（病院長）の推薦状があること
- 4 看護職賠償責任保険に加入していること
- 5 研修で行う臨床実習をすべて受講生の所属する施設等（自施設）で行うことが可能であること

その他、受講生はACLSまたはBLSの研修を受けておくことを推奨しています。

受講要件：「臨床実習場所の要件」について

本研修では、区分別科目で行う臨床実習はすべての症例を受講生の所属する施設（自施設）で行うことを条件としています。

そのため、

- 選択される特定行為は自施設で臨床実習が可能であるか
- ご所属の施設が臨床実習の協力施設の書類提出が可能であるか

などについて予めご確認の上、出願願います。

11 出願手続き

セコム医療システム株式会社のホームページ (<http://medical.secom.co.jp/>) 内のコンテンツ：『**看護師特定行為研修**』から必要書類をダウンロードの上、各フォームの必要項目をご記入し、出願期間内にご提出ください。

【出願書類】

- 1 入講願書……………（様式1）
- 2 履歴書……………（様式2）
- 3 勤務証明書……………（様式3）
- 4 推薦書〈2部〉……………（様式4）
- 5 小論文……………（様式5）
- 6 〈該当者のみ〉既修得科目履修免除申請書……………（様式6）

注意）ご提出いただいた出願書類は返却いたしません。

12 提出先

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前 1-5-1

セコム医療システム株式会社

看護師特定行為研修事務局 宛

※ 必ず「簡易書留」で送付してください

13 出願期間

2018年12月1日～12月31日必着

14 選考方法

受講生は、ご提出いただいた出願書類により選考いたします。

選考結果は2019年1月中旬に志願者と所属施設長へ郵送で通知いたします。

なお、結果に関して電話やFAX等での問い合わせには応じられません。

受講が決定された方には、受講手続き等についてご案内いたします。

15 研修費用について

<2019年度研修費用>

(税込)

共通科目	eラーニング（放送大学受講） スクーリング	200,000円	計 572,000円
区分別科目	eラーニング（セコム提供）、 スクーリング、臨床実習	372,000円	

- ※ 共通科目の受講は必須です（ただし過去に履修しており履修免除申請を提出の上、履修免除が認められた場合は履修が免除されます）。
- ※ 区分別科目は特定行為10区分のうち、4区分以上の選択が必要です。特定行為の選択数にかかわらず費用は定額です。
- ※ 研修費用には、実習などでの教材費、共通科目でのeラーニング（放送大学提供）、区分別科目のeラーニング（セコム提供）での諸経費を含みます。
- ※ 臨床実習は受講生の所属する施設および同一法人施設等で行っていただきます。その場合、「協力施設」の申請および「臨床実習指導者」の登録が必要となります。
- ※ 筆記試験、OSCEなどの評価で再試験が必要となった場合、別途費用がかかります。
- ※ 受講にあたっての交通費、宿泊費、通信費などの諸経費は各自のご負担となります。

16 臨床実習の場所について

特定行為研修では、医療機関などで患者さんへの実習（臨床実習）を行うことが必要です（特定行為1行為につき、5症例以上の臨床実習が必要）。

臨床実習場所は受講生の所属施設（自施設）で行うこととしています。

自施設で実習を行う利点として、実習中や実習後においても継続した臨床実習指導医の指導やサポートを受けやすいことや実習調整のしやすさに加え、実践に近い環境で学べる点などがあると考え、当研修では自施設での臨床実習を受講要件としています。また臨床実習を開始する前に、受講生の所属施設は、セコム医療システム株式会社（特定行為研修指定研修機関）の協力施設として、臨床実習指導者の登録や連携協力体制に関する書類（下記〈協力施設となる要件〉の書類）を作成の上、厚生労働省に提出する必要があります。

詳細は受講決定後に受講生の所属施設担当者にご案内いたします。

〈協力施設となる要件〉

- 1 所属施設の医療安全体制を構築していること
- 2 臨床実習指導者*を確保できること
- 3 緊急時の対応体制を構築していること
- 4 患者への同意説明体制がとれること
- 5 該当症例数の確保等の要件を満たす体制であること

*：臨床実習指導者とは…

- ・ 少なくとも医師を含むこと
- ・ 医師の指導者（臨床研修指導医と同等以上の経験を有すること）
- ・ 看護師の指導者（特定行為研修を修了した看護師やこれに準ずる者として専門看護師、認定看護師及び大学等での教授経験を有する看護師など）

出典：指定研修機関の指定の申請に係る手続き等について
厚生労働省医政局看護課看護サービス推進室

- ※ 出願書類が到着後、協力施設の要件について、セコム医療システム 看護師特定行為事務局より施設担当者様へご確認させていただく場合があります。
- ※ 合格通知後に協力施設の申請手続きについてご案内いたします。
- ※ 受講が決定された場合、協力施設申請に関する書類をご提出いただきます。

17 共通科目・区分別科目の履修免除について

すでに共通科目および区分別科目の全てもしくは一部を履修している場合は、履修免除の申請対象となります。所定の書類を申請の上、看護師特定行為研修管理委員会が当該科目の履修免除を認めた場合には、その履修時間数の全部または一部を免除することができます。

例) すでに共通科目をすべて修了しており履修免除が認可された場合は、区分別科目のeラーニングからの受講となります。

18 看護師の特定行為に係る指導者講習会の開催

特定行為研修の概要、臨床実習の指導方法や評価方法について学ぶ『看護師の特定行為に係る指導者講習会』を開催しております。受講は必須ではありませんが、厚生労働省より臨床実習を行う場合、本講習の受講が望ましい*とされており、臨床実習を行う医療施設の皆様に参加をお勧めしております。

2018年度の弊社開催は次のとおりです。詳細は事務局へお問合せ下さい。

【2018年度 セコム医療システム開催の講習会予定（カッコは会場）】 2018年9月時点

- ① 2019年1月13日(日) 兵庫県神戸市（会場未定）
- ② 2019年2月10日(日) 東京都渋谷区（セコム本社ビル）
- ③ 日程未定 北海道札幌市手稲区（手稲溪仁会病院）

※ 「保健師助産師看護師法第37条の2第2項第1号に規定する特定行為及び同項第4号に規定する特定行為研修に関する省令の施行等について」(平成27年3月17日付け医政発0317第1号厚生労働省医政局長通知)において、指導者は、特定行為研修に必要な指導方法等に関する講習会を受講していることが望ましいこととされています。

19 研修会場

○セコムトレリセンター

〒113-0024

東京都文京区西片一丁目17番8号 KSビル8階

【交通案内】

都営三田線「春日」駅（A6出口）より徒歩4分

都営大江戸線「春日」駅（8番出口）より徒歩8分

東京メトロ南北線「後樂園」駅（8番出口）より徒歩8分



○セコム医療システム株式会社

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前一丁目5番1号

【交通案内】

JR「原宿」駅（竹下口改札口）より徒歩5分

東京メトロ千代田線・副都心線「明治神宮前」駅（出口5）より徒歩5分



看護師特定行為研修（共通科目・区分別科目研修内容）

（単位：時間）

	科目名	研修内容	評価方法	研修・評価方法	履修時間	計	
共通科目(9科目)	1	臨床病態生理学特論	講義・演習	小テスト・筆記試験 演習時の発表	■講義・演習 ・放送大学eラーニング (自宅・勤務先等 での受講)	45.0	
	2	臨床推論	講義	小テスト・筆記試験		35.1	
	3	フィジカルアセスメント特論	講義	小テスト・筆記試験		37.7	
	4	臨床薬理学特論	講義・演習	小テスト・筆記試験 演習(ディスカッション) レポート		45.0	
	5	疾病・臨床病態概論	講義・演習	小テスト・筆記試験 演習時の発表		60.0	
	6	医療安全学特論	講義	小テスト・筆記試験		22.1	
	7	特定行為実践特論	講義・演習	小テスト・筆記試験 演習(発表・ディスカッション) レポート		31.0	
	8	特定行為共通科目統合演習	演習	演習(発表・ディスカッション)・ レポート		■講義・演習 ・スクーリング (研修施設/東京 での面接授業)	20.0
	9	共通科目統合実習	実習 (模擬実習)	筆記試験 実習評価		24.0	
区分別科目(10区分)	特定行為区分		研修内容	評価方法	研修・評価方法	履修時間	計
	1	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	講義 実習 (模擬実習・臨床実習)	小テスト・レポート 筆記試験、OSCE 臨床実習観察評価	■講義 ・セコムeラーニング (自宅・勤務先等 での受講) ■スクーリング ・講義・演習・模擬 実習 (研修施設/東京 での面接授業) ■臨床実習 ・臨床実習 (受講生の所属 施設での実習)	22.0	
	2	呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	講義 実習 (模擬実習・臨床実習)	小テスト・レポート 筆記試験、OSCE 臨床実習観察評価		21.0	
	3	ろう孔管理関連	講義 実習 (模擬実習・臨床実習)	小テスト・レポート 筆記試験、OSCE 臨床実習観察評価		48.0	
	4	栄養に係るカテーテル管理(梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	講義 実習 (模擬実習・臨床実習)	小テスト・レポート 筆記試験、OSCE 臨床実習観察評価		21.0	
	5	創傷管理関連 <small>2019年度開講予定</small>	講義 実習 (模擬実習・臨床実習)	小テスト・レポート 筆記試験、OSCE 臨床実習観察評価		72.0	
	6	動脈血液ガス分析関連	講義 実習 (模擬実習・臨床実習)	小テスト・レポート 筆記試験、OSCE 臨床実習観察評価		30.0	
	7	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	講義・演習 実習 (臨床実習)	小テスト・レポート 筆記試験 臨床実習観察評価		36.0	
	8	感染に係る薬剤投与関連	講義・演習 実習 (模擬実習・臨床実習)	小テスト・レポート 筆記試験 臨床実習観察評価		63.0	
	9	血糖コントロールに係る薬剤投与関連 <small>2019年度開講予定</small>	講義・演習 実習 (模擬実習・臨床実習)	小テスト・レポート 筆記試験 臨床実習観察評価		36.0	
10	循環動態に係る薬剤投与関連	講義・演習 実習 (臨床実習)	小テスト・レポート 筆記試験 臨床実習観察評価	60.0			

※OSCE (オスキー、Objective Structured Clinical Examination) : 臨床実習前における実技試験のこと

研修の内容・料金など、ご不明な点や詳細については
「セコム医療システム株式会社 看護師特定行為研修事務局」へお問い合わせください

2019 年度

第二期生 看護師特定行為研修 募集要項

〈お問い合わせ・願書提出先〉



〒150-0001

東京都渋谷区神宮前 1-5-1

セコム医療システム株式会社

看護師特定行為研修事務局

TEL **03-5775-8030** (受付：平日 9：00～18：00)

2018 年 10 月